土建しんぶん
墨田、江東、江戸川合同編集

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂１－１１－４
ＴＥＬ〔3640〕２４１１
発行者　実川英治
定価　３０円
新聞代は組合費に含まれています

◆事務所閉館のお知らせ◆

江東支部

12月３日（金）は書記局会議・研修のため、一日事務所を閉館とさせていただきます。
12月28日(火)午後から2022年１月４日（火）まで年末・年始のため、事務所を閉館とさせていただきます。予め、ご了承ください。

“誰一人とり残さない”秋の拡大月間 全地域分会・青年部・女性の会・喜楽会で目標達成!!

『誇り』と『成果』高き江東支部

みんなで掴み取った『＋プラス１』

昨年に引き続きコロナ禍２年目の秋の拡大月間、１４１人の新しい仲間を加え、長期間にわたる訪問行動の幕を下ろしました。

16日間にわたる設定行動日で、行動参加者は延べ１０２９人、仲間との対話件数は５１９人でした。まずは、皆様からのご参加・ご協力いただき大変お疲れ様でございました。

「新型コロナウイルスの影響により、仕事や生活に困っている」方々の情報を吸い上げるため、困っている仲間を取り残さないために、「対話アンケート」を活用した組合員との対話に注力してきました。

拡大月間前半戦の９月では、緊急事態宣言発出中ということもあり、電話での対話行動を提起していました。提起通り、拡大センターに集まり、行動参加者とのソーシャルディスタンスを保ちながらの電話対話行動を行っていた分会。一方で、そのような状況の中でも、新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら訪問し、仲間の生の声を聴くことにこだわった分会もありました。

訪問対話にこだわる分会では、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、会話を最小限に、困っていることを聞き出せるよう、対話アンケートを大きく引き伸ばして、指差し回答を行う分会。訪問される仲間のことを考え、訪問のアポイントを取った上での訪問を行う分会。厳しい状況の中、それぞれの分会が考え、自立した訪問行動となりました。

９月下旬に開催した、拡大推進委員会で「９月に仲間と対話した結果、国保の減免制度、月次支援金、コロナ手当金などを知らない仲間がまだまだいることに驚いた。今まで意識的に呼び掛けてきたつもりでいたが、まだまだ足りない。後半戦では前半戦にも増して呼び掛けていきたい」といった反省もありました。緊急事態宣言も明け、新型コロナウイルスの感染者数もかなり減少した10月の拡大月間後半戦。それまでは電話での対話を行っていた分会も拡大センターに集合し、満を持して訪問行動に取り組みました。

アンケートの回収・集約も進み、その結果「国保料減免制度」や、「新型コロナウイルス手当金」、「月次支援金」の申請の相談等が江東支部窓口へ寄せられ、「そんな制度があったなんて知らなかった」という仲間を一定程度減らすことができました。

今年秋の拡大月間も無事終わり、通常であれば拡大行動参加者で労を労い盛大に打ち上げを行うところですが、コロナ禍ということもあり各分会でエアー乾杯などで長い２か月間の秋の拡大月間に終止符を打ちました。

皆様からのご奮闘により、全地域分会・個別組織で目標を達成し、ふたつの分会で『＋プラス１』という結果を残すことができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

大島分会　高梨分会長の拡大達成「エアー乾杯!!」

秋の拡大月間“プチ”上げ

東砂分会　お茶で「達成おめでとう～！」

ベテラン分会役員からのご指導と交流が生まれた秋の拡大月間

拡大月間を終えて…

今回の拡大は大変難しかった。コロナ禍で人集めが出来なかった事、電話入れでは、中々、顔の見えない対象者との会話に知恵を絞りながらの行動でした。いつも一緒に行動する人が入院して戦力が落ちたり、分会を非難する組合員の行動を抑える問題が出てしまいました。そういった中で支部作成の対話アンケートを基に電話での対話を行い、共済制度のすばらしさを報告。現組合員の奥様の収入が多くなったので奥様が組合員に加入。健康診断のお知らせ等も拡大加入の手助けになりました。

一番大きいのは、管工事・管理の分会内事業所さんが毎月のように加入してくれる事が大変助かっています。最近高齢の群長さんから若い組合員の勉強がてら、分会センターに顔見せしてもらい、仲間との交流を始めました。拡大月間も終了となりましたが、その後何名が話に乗ってもらえるか楽しみデ～ス！まずはともあれ拡大頑張ります。**深北分会　佐藤敏仁**

2021年 秋の拡大月間　実績表　2021/11/1

超過達成
年間13%目標
期間目標 4.0%達成

分会名	亀戸	大島	小名木	砂中	４砂	東砂	南砂	深北	深中	深三	深七	事業所	直属
拡大成果	9	12	9	15	6	17	11	10	14	7	12	10	9
9月雇用	1	1	1			1			1			3	
9月成果	5	4	3	7	3	8	6	1	4	4	1		
10月雇用				1		1	2	2	4			4	
10月成果	3	7	5	7	3	7	3	7	5	3	11	3	9

拡大目標	8	12	9	13	6	16	11	10	14	7	12	33	21
（前期の残）	-1	0	2	3	2	3	0	3	2	2	3	11	12
1月人員	181	279	164	244	98	325	273	159	283	119	224	544	343
10月人員	183	281	163	236	101	305	287	154	285	115	228	527	343
人員増減	2	2	-1	-8	3	-20	14	-5	2	-4	4	-17	0

期間目標	172
拡大数	141
期間の到達率	82.0%
到達まであと	31
	4.36%
年間暫定目標	421
年間拡大数	391
年間目標残	30
年間拡大率	12.08%

青年	女性	喜楽
7	14	24

141	合計
8	9月雇用
46	9月成果
14	10月雇用
73	10月成果

172	目標の計
42	（前期の残）
3236	1月人員
3208	10月人員
-28	人員増減

戦前戦後七七年の笑事

中尾　正文（深川第七分会）

第三章（第十回）昭和戦後

昭和20（1945）年ポツダム宣言を受け入れ降伏した。43年12月テヘラン会議（スターリンが対日参戦を約束）45年2月ヤルタ会談（南樺太・千島のソ連への帰属）45年6月シスコ会議（国際連合成立）同7月ポツダム会談（日本占領・戦犯の裁判・再軍備禁止など）と一連の対日政策がされる中で、20年6月8日の御前会議では、本土決戦の確認をしながら、もうすでに大東亜共栄圏建設どころか、「国体護持」が第一になっていた。大きく状況認識がずれる中、ようやく同22日に天皇自らが先導しての初めての御前会議で、戦争の終結について言葉があり、首脳間ではもはや無口の共通認識となった。

決定がいつかが問題ではなく、天皇が4月に鈴木貫太郎を首班に置き、東条に左遷されていた松谷陸軍大佐を鈴木が即刻秘書官に戻していての状況報告に加え、梅津参謀総長の支那派遣軍と関東軍は壊滅状態との報告が8日の本土決戦建前を一転させ、22日には「終戦やむなし」との首脳部を多勢にした。自ら言い出せず天皇の「お言葉」を待つ不甲斐なさで、8月の原爆投下迄公表が遅れた。

この政治の混乱は、戦後の今も続いている。東京裁判の良し悪しより、自ら戦争を総括しようともしない「なあなあ主義」や「憲法押し付けられ論」の悪用を戦後76年続けている。シスコ平和条約を急いだ吉田は、日米安保条約に同意せざるを得なかったが、改定期限を設けたぎりぎりの妥協も、60年安保に先の安保（占領解消のために強要された）時代に決めた全てを引き継ぐ条項を新条約の最後に潜り込ませての締結は、十分に国民に説明せずに強行採決で成立させたのは裏切りであり、国民無視である。これをもって、占領時代から続く押し付け事項をそっくり「コンプライアンス」が好きな国民は守り、米国が属国と疑わない事実にも喜々として、更に属国化を進めている。日本のために血なんて流す気もはなから無い米国は、米国のために喜んで血を流す（集団的自衛権？）教育と遵法精神を植え付けてきている。

経済的には高度成長に浮かれただけで、朝鮮戦争の犠牲を含む明治以降の歴史から何ら学ばない姿勢は、迷惑賃を払ったから終わりだとの不遜な態度を取っている。今までの加害にくらべれば何をしても不十分であるが、近隣であり多くの教えを乞うた先人への思いからも、真心から交流をして互いに平和で幸福になる関係を作るべきと思わざるを得ない。隣人とさえ仲良くできない国が、国民や外国に何を言っても誰が信義を感じるであろうか。

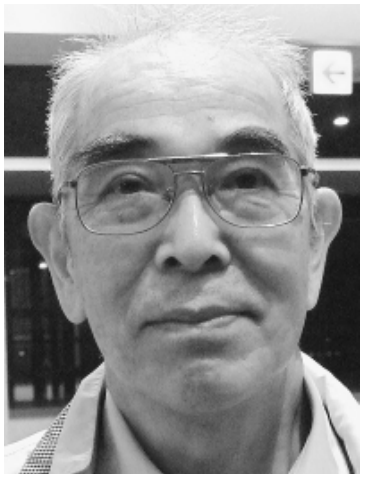
歴史は様々な事象に事欠かないが、常に「人の生命」の尊さからの距離が遠い。（つづく）次回で最終回です。

深七中尾正文

分会リレートーク

副財政部長

新野好雄さん（深川第七分会）



深七分会の〝大統領〟こと新野好雄さん！

戦後生まれの大工三代目、新野家は八王子がルーツです。本人は焼け野原から復興しつつあった「森下町」で生まれ、葛西工業高校建築科一期生です。何を間違ったか、お役人になり、復興期の公僕住宅の建設などに携わりました。

早いうちから親父の工務店の仕事を継ぐ覚悟があり、5年で霞が関にバイバイ。予想通り「知人の紹介」で結婚しました。伴侶が如何に素敵かは、息子を見ればわかります。子ども三人（2男1女）は、なかなかの納得いく人生をそれぞれ歩んでおられます。

好雄氏は、若き頃仲間と主に日本アルプスの山行を楽しみました。筆者（中尾）が信州大学にいる時、どこかで遭遇していたかもしれません。酒は公僕ながら若い頃から飲み、今は最大の生きがいになっています。独人呑みも好きで、深川至るところに出没します。でも土建の仲間と飲むのはたまらなく大好きで、最優先です。組合活動も50年、経歴では大御所です。

今後も「新野工務所」のお引き立て宜しくお願いいたします。

総選挙を振り返って

今回の衆議院選挙は、コロナ問題での闘いで始まった。結果は与党の圧勝と言っても過言ではないだろう！

地元15区でも無所属の議員が勝てば自民党に入党だと巷に聞いていた。さて問題はここからだ。

昨年からコロナで入院したり、自宅で加療、待機をしながらの死亡報道が頻繁で、人間の命はこんなに簡単に亡くなってしまう事が異常ではないのか？アベノミクスの政策がデタラメだった答えがでた様なものではないか！最近のニュースでアベノマスクの在庫が115億円分その保管料が6億円毎月出ていくとの報道です。それでも当の本人は選挙で勝てば知らんぷりだろう。思い出して見て下さい。モリ、カケ、花見問題で自分の部下がその事案を「のり弁」で処理をして痛まれなく、自殺に追いやられても助けの言葉もない奥さんが裁判を起こして奮起、ご主人の尊厳を守る行動に出ている。

民主主義とはいえ、まだ投票する人達の気持ちが戦後の日本を見るような結果が残念になりません。まだまだアメリカ追随の人の気持ちが残っている様な気がします！

深北分会　通信員　中谷登志夫

第44回住宅デー

4会場にて開催

11月14日（日）に第44回住宅デーを開催しました。4分会4か所で開催し、近隣住民への周知はチラシポスティングにて行いました。

例年は6月に開催している住宅デーですが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し開催を見送りました。今年も6月には新型コロナウイルスの感染者数が激増し、6月通常開催は断念。「今年は何とか開催できないか」という思いから、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら開催時間の縮小、完全予約制で「包丁研ぎ」、「住宅相談」に限定した住宅デーとなりました。

異例の開催方法の中、「開催したいが、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底することが困難」という理由から開催を見送る決断をせざるを得ない分会、「こんな状況だけど東京土建住宅デーを開催できることをみせたい」など今年の住宅デーへの想いは様々でした。

当日の状況は、来場者が密とならないように大きく看板・横断幕などを出さずに開催し、通常と比べると「少し寂しい雰囲気」という声もある一方、4つの分会での来場者総数は66名。包丁研ぎの依頼件数は83件、住宅相談は8件と予想より上回る依頼件数。職人による包丁研ぎの技術が光っていました。今回の住宅デーで集まった江東区福祉募金の総額は、20、469円でした。第44回住宅デーに関わった皆様、大変ありがとうございました。

コロナ対策万全の大島分会住宅相談

一本一本、丹精込めて研ぐ　小名木分会　石黒さん

求　人

事業所名：**有限会社　上進メンテナンス**
代表者：**井上貴博**
住所：**〒136-0073　江東区北砂４-３-８-602**
電話：**03-3649-7118/090-1554-5414**
FAX：**03-6666-0818**
メールアドレス：**tokyo@joshin-m. com**
希望職種：**機械設備修理・プラント内作業**
働き先：**入混**
★募集希望内容
1、正規雇用…希望人数：**２人**
条件等：**経験者・見習・不問**
2、短期雇用…希望人数：**１人**
条件等：**不問**